

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（医療に関する事業：こどもインフルエンザ予防接種助成事業）										
補助事業者名	岩国市長										
実施場所	岩国市										
補助事業の成果の目標	本市では、インフルエンザ予防接種助成制度は、65歳以上の高齢者にしかなく、こどものいる家庭においてインフルエンザ予防接種は経済的に大きな負担となっている。 このため、乳幼児・児童生徒を対象として、インフルエンザ予防接種の補助を実施し、保護者の経済的な負担を軽減すると共に、インフルエンザの蔓延を防止し、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。										
補助事業の内容	インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助する。 対象者：6か月児から15歳まで 回数：6か月から12歳 2回 13歳から15歳 1回 助成額：2,500円/回										
補助事業の始期及び終期	平成28年10月から令和6年3月まで										
事業費及び 交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	
	事業費	円 38,533,979	円 34,773,800	円 38,496,385	円 40,170,568	円 6,039,553	円 35,865,825	円 35,865,825	円 25,840,506	円 255,586,441	
	基金 造成 成額	交付金額	204,000,000	51,000,000							255,000,000
		市町村費	0	0							0
		その他	0	0							0
		運用益	19,014	168,553	91,608	81,267	106,677	77,231	33,927	8,164	586,441
		計	204,019,014	51,168,553	91,608	81,267	106,677	77,231	33,927	8,164	255,586,441
	基金処分額	0	38,533,979	34,773,800	38,496,385	40,170,568	6,039,553	35,865,825	61,706,331	255,586,441	
基金残額	204,019,014	216,653,588	181,971,396	143,556,278	103,492,387	97,530,065	61,698,167	0	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	令和2年度におけるこどもインフルエンザ接種件数は、山口県が臨時的に行った助成事業と重複したため、接種件数1,778件であったが、令和3年度においては接種件数は13,552件、接種率は49.5%と例年並みの実績に回復したことから、接種費用の補助が予防接種を促進したと評価できる。また、接種時に行った保護者へのアンケートを調査したところ、ほぼ全員から当該事業が子育て支援に繋がっているとの評価を得ている。 また、当該事業の周知については、市広報誌、市HP、健康づくりの情報紙、乳幼児健診時のチラシ及びアンケート用紙への記載により行った。										
事業の改善措置及び今後の対応	令和3年度から対象年齢の下限を12か月から6か月に引き下げ、事業の拡充を行った。令和4年度に基金を造成し、引き続き、助成事業を継続することにより、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図りたい。										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無										

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：岩国市学校空調設備維持管理事業）							
補助事業者名	岩国市長							
実施場所	岩国市地内各地							
補助事業の成果の目標	本市の市立小学校及び中学校は、空調設備が未整備の施設が多いことから、夏季に教室等の温度が上昇し、児童生徒に集中力の低下や体調不良が見られるなど、学校環境が悪化しているところである。 学校環境の改善を図るために整備した空調設備の維持管理を適切に行い、安定的な運用を行うことで、児童生徒が快適に学習できる環境を整える。							
補助事業の内容	空調設備の維持管理							
補助事業の始期及び終期	平成23年度から令和8年度							
事業費及び交付金額		30年度 まで	令和元 年度	令和2年 度	令和3年 度	4年度 予定	計	
	事業費	円 43,899,281	円 15,290,506	円 21,083,199	円 24,892,479	円 14,479,772	円 119,645,237	
	基金 造成 額	交付金額	156,121,000	0	0	0	0	156,121,000
		市町村費						
		その他						
		運用益	533,330	62,281	96,531	57,722	100,001	849,865
		計	156,654,330	62,281	96,531	57,722	100,001	156,970,865
		基金処分別	28,968,302	14,930,979	15,290,506	21,083,199	24,892,479	105,165,465
	基金残額	127,684,038	112,815,340	97,621,365	76,595,888	51,803,410		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、空調設備の維持管理を適切に行うことができ、安定的な運用が可能となった。 また、各学校へのアンケート調査を実施した結果、本事業が児童生徒に対して快適な学習環境を提供することができている旨の回答を得た。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることについては、空調機器に記載及びホームページへの掲載を行い、地域住民へ周知を行っている。							
事業の改善措置及び今後の対応	現場の使用状況や、アンケート結果を参考にして事業を実施							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共施設(消防に関する施設:消防ポンプ自動車整備事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市長						
実施場所	岩国市消防団 岩国東方面隊 通津分団第1部消防車庫 (岩国市通津2571-5)						
補助事業の成果の目標	本市の岩国東方面隊通津分団第1部に配備している消防ポンプ自動車は、すでに配備から19年が経過しており、交換用部品の入手困難となっている状況である。今後、不具合が発生した際には、修理不可能となる事態が想定される。このため、老朽化した消防ポンプ自動車を更新することで、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制を整え、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車 1台(CD-I型)						
補助事業の始期及び終期	令和3年度						
事業費及び交付金額		3年度					計
	事業費	19,555,800	円	円	円	円	円
	交付金額	17,986,000					17,986,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、火災発生時に迅速かつ確実な消防活動が行える体制が整備できた。</p> <p>また、分団員へのアンケート調査の結果、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制の整備に貢献すると思うという評価が100%であり、その理由として、「バッテリー上がりを未然に防げるようになった」「吸水バルブや送水バルブの動きが良く操作しやすくなった」等の意見であった。</p> <p>当該事業が交付金事業である旨を車両本体に記載し、地域住民の周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、計画的に消防車両を更新することにより、消防力の向上を図り、地域住民の生活環境の改善を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共施設(消防に関する施設:消防車庫整備事業(通津))整備事業						
補助事業者名	岩国市長						
実施場所	岩国市通津2096-84						
補助事業の成果の目標	岩国市消防団岩国東方面隊通津分団第6部消防車庫については、昭和51年に建築されてから45年が経過し、老朽化による壁のひび割れ等が著しいことから、早期建て替えが必要となっている。 消防車庫の建替えに併せ、ホース洗い場等を新設することで、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制を整え、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	通津分団第6部消防車庫の新築整備(木造2階建20.70㎡)						
補助事業の始期及び終期	令和2年度から令和3年度						
事業費及び交付金額		2年度	3年度				計
	事業費	2,783,000	18,096,980				20,879,980
	交付金額	2,647,000	18,096,000				20,743,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制が整備できた。 また、分団員へのアンケート調査の結果、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制の整備に貢献すると思うという評価が100%であり、その理由として、「消防車両の出し入れが良くなった」「器具の整理整頓ができる」「トイレが整備された」「ホース洗い場が整備された」等の意見であった。 本事業が交付金事業である旨を工事看板、工事案内文及び消防車庫へ掲示などで地域住民の周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、老朽化した消防車庫の新築整備または改修を行うことにより、消防力の向上を図り、地域住民の生活環境の改善を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(環境衛生施設:麻生田水路改修事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市長						
実施場所	岩国市南岩国町四丁目地内						
補助事業の成果の目標	麻生田水路は空石積みによる水路であるが、経年劣化が著しく、石積みの崩落等による水路の閉塞が発生していることから、周辺地域の適切な排水に支障を来している状況である。 このため、本水路の改修工事を行い、排水不良を解消することで、周辺住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	水路改修工事 延長L=336m						
補助事業の始期及び終期	平成22年度～令和3年度						
事業費及び交付金額		H22年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
		円	円	円	円	円	円
	事業費	3,362,000	7,005,521	8,452,080	10,236,485	10,143,723	10,748,050
	交付金額	3,000,000	6,700,000	8,100,000	9,710,000	10,000,000	10,385,000
		R2年度	R3年度				合計
		円	円				円
	事業費	10,734,032	13,055,766				73,737,657
	交付金額	10,147,000	11,768,000				69,810,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、排水不良を解消することができ、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。また、地域住民へのアンケート調査を実施したところ、排水路が整備されたことにより排水不良が改善されたという回答を得ることができた。</p> <p>本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板に掲載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市日米交流基金事業)								
補助事業者名	岩国市長								
実施場所	市内全域								
補助事業の成果の目標	教育、スポーツ、文化活動等の日米交流事業を通じて、日米の相互理解及び友好の絆を深めることにより、国際感覚の豊かな人材育成ができるまちづくりを推進する。								
補助事業の内容	日米交流事業及び愛宕山運動施設の管理運営								
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和6年度								
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予定)	令和5年度 以降(予)	計
	事業費	12,038,266	69,926,415	66,061,387	75,570,972	100,000,000	100,000,000	97,923,057	521,520,097
	基金 交付金額	90,000,000	136,834,000	93,946,000	100,000,000	100,000,000			520,780,000
	市町村費								0
	その他 運用益	6,805	54,863	108,857	175,812	154,820	118,498	120,442	740,097
	計	90,006,805	136,888,863	94,054,857	100,175,812	100,154,820	118,498	120,442	521,520,097
	基金処分額	0	12,038,266	69,926,415	66,061,387	75,570,972	78,942,480	218,980,577	521,520,097
基金残額	90,006,805	214,857,402	238,985,844	273,100,269	297,684,117	218,860,135	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>教育・スポーツ・文化等に関する日米交流事業として下記2事業を実施したほか、愛宕スポーツコンプレックスの運営・管理に関する事業において、日米交流を通じての相互理解や、日米の親善を深める取り組みを展開した。</p> <p>令和3年12月5日に開催した「第5回日米親善リレーマラソン」ではエントリー数138チーム、1418人の参加があり、日米混成チームで参加されるチームも見受けられ、日米交流の場を創出した。チーム代表者を対象としたアンケート調査では、「日米合同チームが年々増えていると思う。」や「アメリカの方と日本の方がタスキリレーをしたり、声をかけあったりしていた。」「岩国市外の人間はあまり米国人に接する機会がなく馴染みがないが、売店や競技場で接することで、馴染みのなさが緩和された。」などの肯定的な意見が多く、1本の襷をつなぐことにより、日米の友好と絆を深めることにつながったことが確認できた。</p> <p>令和3年12月11日には、文化交流事業として「クリスマスツリーを飾ろう」を開催し、日米60人(市民:33人、米国人:27人)の親子等が折り紙やクラフトを製作し飾り付けを行った。サンタクロースの登場により会場を盛り上げ、日米交流の場を創出した。アンケート調査では、「日頃交流のない外国の方との交流が楽しかった」などの市民からの意見や、米国人からは、「クリスマスの楽しみを盛り込みながら、お互いに友情を築けることもでき、素晴らしいイベントだった。」などの肯定的な意見が多く、クリスマスイベントを通じた交流により親善を深め、日米の相互理解につながったことが確認できた。</p> <p>また、市民や米軍岩国航空基地等に折り鶴の協力を呼びかけ、集めた折り鶴をクリスマスツリーに飾り付けを行い、岩国市役所1階ロビーに展示した。日米合計3,000羽以上が集まり、集まった折り鶴を用いて千羽鶴を作成し、岩国市役所1階展示スペース等に展示した後、広島市の平和記念公園へ寄贈した。</p> <p>なお、本事業が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市ホームページ、施設掲示板、市報、イベントチラシに掲載し、地域住民への周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施していく。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(住民の生活の安全に関する事業:岩国市防犯設備基金事業)							
補助事業者名	岩国市長							
実施場所	市内全域							
補助事業の成果の目標	市民生活に悪影響を及ぼす犯罪、事故等を未然に防止する環境を醸成し、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを推進する。							
補助事業の内容	防犯灯電気料金の助成、防犯カメラの維持管理							
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和7年度							
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度予定	計
	事業費	円	円	円	円	円		円
	基金	3,392,920	31,706,671	24,794,294	24,206,359	23,682,440	29,365,000	137,147,684
	交付金額	73,000,000	17,210,000	26,364,000	35,543,000	32,935,000	12,068,000	197,120,000
	市町村費							0
	その他							0
	運用益	1,018	34,726	31,902	62,042	54,871	42,875	227,434
計	73,001,018	17,244,726	26,395,902	35,605,042	32,989,871	12,110,875	197,347,434	
基金処分類	0	3,392,920	31,706,671	24,794,294	24,206,359	23,682,440	107,782,684	
基金残額	73,001,018	86,852,824	81,542,055	92,352,803	101,136,315	89,564,750		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業について、自治会へのアンケート調査を行い、「防犯灯があるため安心して暮らせる」「高齢者や一人暮らし世帯が多い地域であり、防犯予防の上で大変役立っている」等の回答を得ているところであり、犯罪、事故等を未然に防止する環境が醸成され、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりの推進に貢献していることを確認した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを広報紙、ホームページ及び自治会ハンドブックに掲載することで、市民全体に周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市学校給食運営基金事業)								
補助事業者名	岩国市長								
実施場所	市内全域								
補助事業の成果の目標	学校給食において、児童及び生徒の食に関する正しい理解と望ましい食習慣を養うとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりを推進する。								
補助事業の内容	学校給食の無償化								
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和10年度								
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 予定	計	
	事業費	円	円		円	円		円	
		18,997,200	402,790,812	367,968,125	393,441,303	383,532,236	400,764,408	1,967,494,084	
	基金 造成 成額	交付金額	190,000,000	559,595,000	544,067,000	520,431,000	560,801,000	490,731,000	2,865,625,000
		市町村費							0
		その他							0
		運用益	2,054	114,797	218,339	517,032	502,185	436,820	1,791,227
		計	190,002,054	559,709,797	544,285,339	520,948,032	561,303,185	491,167,820	2,376,248,407
基金処分額	0	18,997,200	402,790,812	367,968,125	393,441,303	383,532,236	1,566,729,676		
基金残額	190,002,054	730,714,651	872,209,178	1,025,189,085	1,193,050,967	1,300,686,551			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことで、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりが推進された。</p> <p>なお、小中学校長等へのアンケート調査を行い、「他市町にない制度で、家庭にとっては非常にありがたいものである。栄養バランス、子どもの嗜好がしっかり配慮されており、定期的に行われる、栄養教諭による食育指導や地域・保護者を対象とした給食試食会などは、子どもや保護者の食に関する正しい理解と望ましい食習慣の意識向上に十分寄与している。等の回答を得ている。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p> <p>(1)市広報紙へ記載 (2)新入学児童生徒に対し周知文書の配布 (3)アンケート用紙に記載 (4)ホームページへ掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。